

「自立支援法」を恒久化

国会会期末、民主、自民、公明3党の「増税談合」が進むなか、他の悪法も3党で強行しています。

「採決しないで!」「撤回しろ!」

19日、参院厚生労働委員会に障害者らの怒りと悲痛な叫びが響きました。民主党が「障害者自立支援法」廃止の公約をほごにし、わずか3時間の審議で現行法を恒久化させる「障害者総合支援法案」を自民、公明と共に採決を強行。20日、成立しました。

岩手県花巻市から来た視覚障害者の小田嶋保子さん(63)は「私たちの声は抑えつけられた。怒りは収まらない」と顔を紅潮させます。

傍聴後の集会で「障害者自立支援法訴訟の基本合意の完全実現をめざす会」の太田修平事務局長は、法案は採決されたものの、「私たちの運動は大きな視点に立って見れば、勝っている。あきらめないでたたかっています」と訴えました。



「ウンと裏切りで固められた法律に未来はない」などと、参院厚生労働委員会での採決を前に、次々と訴えた障害者や家族、関係者ら。19日、国会前